

ちくたく 地区拓

VOL.39

2023年10月16日発行
岡輝中学校区学校運営協議会 情報誌編集委員会

アクセスお待ちしています!!

QRコードで
簡単チェック!



岡輝中学校
HP



清輝小学校
HP



岡南小学校
HP



岡輝公民館
HP
(岡山市)



清輝児童
センターHP
(岡山市)



福祉交流
プラザ岡輝HP
(岡山市)

岡輝中学校PTAについて

岡輝中学校PTA会長 岡本 誠

PTAは生徒の保護者と教職員からなる団体で、会則にあるその活動目的は「生徒の幸福を願い、岡輝中学校教育を支援するとともに、会員の研修と親睦をはかること」となっています。

すべての生徒のための活動というのは比較的イメージしやすいですが、会員のスキルアップやコミュニケーションを深めるといふ部分は何をテーマにどんなことをするのかか思いつきにくいのではないのでしょうか？ 実際、目立った活動があまりなく、もう少しなんとかしたいなと個人的には思います。

一方、別の見かたをすると、PTA活動には2種類の活動が存在します。

ひとつはPTA会員(役員)が企画して行う活動で、バザーや学校行事のサポート、卒業式関連作業、会員同士の交流企画などが相当します。これらは会の目的に沿った形で企画運営されるべきものです。

もうひとつは他団体との関係のもとに行われる活動です。例えば、市内の各校PTAが加入している岡山市PTA協議会での活動があります。主催するイベント、勉強会などへの参加や各PTAからの要望、意見などをまとめて教育委員会や行政に働きかけるといった単独のPTAではできないことができるメリットがあります。

また、学区内のことでは、岡輝地区青少年育成協議会(育成協)での活動を例に挙げると、補導活動や地区懇談会、サマーグリーン作戦などにPTAの各事業部などが参加しています。育成協などの地域の各団体と連携してPTAと学校だけではなく地域のみならず生徒の成長を応援していく取組みの一環です。

そんなPTAなのですが、昨今の生徒数の減少から、活動に変化も出てきています。生徒が減るということは当然に保護者や教職員の数も減るといふこととなり、今までできていたことができなくなっていくます。他団体との連携も含めPTAの活動内容や組織の在り方も時代に合わせたものに変わっていくべきだし、そうしていこうとできることからやっいていこうとしているところです。



サマーグリーン大作戦
みんなの住む街をきれいに!

今までの良い面は残しつつ、新たな考えや仕組みも柔軟に取り入れていき、改善を進めて、PTA活動に魅力を感じてもらおうようにしていきたい思います。

岡輝中学校PTAに対してご意見、ご助言等ございましたらお気軽にお声がけください。よろしくお願ひします。

岡輝中学校区地域協働学校(コミュニティスクール)への期待

文責
服部道明

はじめに

岡輝中学校区の岡輝中、清輝小、岡南小は平成14年度からの3年間、文部科学省より「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究」の指定を受けました。この研究は、コミュニティ・スクール設置に向けた法律を作るためのもので、全国7地区9校が指定されました。この研究を受けて平成16年、法律(地方教育行政の組織及び運営に関する法律)が改正され、岡輝中学校区は平成17年、県下第1号の地域協働学校(岡山市版コミュニティ・スクール)に指定されました。

学校運営協議会(以下「学運協」、地域協働学校の運営主体)

- ①学運協は各校園に設置されていますが、岡輝中学校区では0歳から15歳までのタテの連携を重視し、中学校区全体の学運協として運営しています。
- ②学運協は地域・保護者の代表、有識者、公募によって選出された委員、公立の保育園、こども園、小・中学校の教職員によって運営されています。
- ③学運協は年9回開催しています。そのうち1回は「拡大協議会」として、岡山南高校を含め、中学校区にある私立の幼稚園・保育園が出席し、情報交換をしています。

これまでの取組

岡輝中学校区は、平成10年度から2年間の岡山東署「パイロット地区」指定、平成11年度から3年間の岡山県「いきいきスクール支援事業」指定の中で、岡輝地区青少年保護協議会(後の青少年育成協議会)を活動母体にも多くのイベントを行い、ネットワークを築いてきました。また、学運協が発案した「子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール」が岡輝中、清輝小、岡南小に開校し、20年目を迎えています。さらに現在、保・小・中・高のつながりの中心となっている「協同学習」は、平成19年度から導入した学び改革であり、0歳から15歳までの育ちや学びを意識した一貫した保育・授業づくりに中学校区をあげて取り組んでいます。また、「みどりの林檎」や「つながれ岡輝」など、地域と子どもたちがつながる素晴らしいイベントが継続して実施されています。

地域協働学校(コミュニティ・スクール)のこれから

全国にコミュニティ・スクールが広がる中、岡輝中学校区は地域協働学校の第1号指定から19年目を迎えました。一方、紛争や環境汚染などにより、世界全体が先行き不透明となる中、子どもたちの将来も益々見通しが持ちづらくなっています。岡輝中学校区でも、この19年の間に小・中学校に在籍するこどもの数が半減する中、不登校をはじめ、その背景であるヤングケアラー等の課題が顕在化してきています。そのため、子どもたちの現状や課題に応じた保育・教育に中学校区全体で取り組むとともに、持続可能な学校運営の在り方を追求する必要性を改めて実感しています。

岡輝中学校区の「めざす子ども像」は「自ら考える力と仲間とともに支え合い生活する力を身に付け、社会に貢献する子ども」です。昨年度の学運協では、この「めざす子ども像」をテーマに、0歳から15歳までの子どもたちに身に付けさせたい力や、そのために学校園・保護者・地域がすべきこと、できることについて話し合いました。このように岡輝中学校区は、将来の子どもたちを想像しながら、地域と保護者、学校園が一体となって保育・教育に取り組む学区として、これからも一歩ずつ歩みを進めていきたいと考えています。

2023年度の岡輝中学校区学校運営協議会委員

- | | | | |
|-----------------|---------------------------------|-----------------|--------------------------------------|
| 1 高柳 光成 (地域部) | (会長) 元芳田小学校長 | 17 岡島 靖 (地域部) | 福祉交流プラザ岡輝館長 |
| 2 森谷 正孝 (NPO代表) | 元清輝中学校長 | 18 岡本 誠 (PTA部) | (副会長) 岡輝中学校PTA会長 |
| | 元岡輝中学校長 | 19 岡本 梢 (PTA部) | 岡南小学校PTA会長 |
| 3 中原 一郎 (地域部) | 清輝学区連合町内会会長 | 20 芥田 健作 (PTA部) | 清輝小学校PTA会長 |
| | 元清輝幼・小・岡輝中PTA会長 | 21 服部 道明 (学務部) | (副会長) 岡輝中学校長 |
| 4 藤井 敏明 (地域部) | 岡南学区連合町内会会長 | 22 余公 俊晴 (学務部) | 清輝小学校長 |
| | 元岡南小PTA会長 | 23 奥山 裕史 (学務部) | 岡南小学校長 |
| 5 宮井 宏 (地域部) | 元岡南小学校長 | 24 高原 智美 (学務部) | 岡南認定こども園長 |
| 6 藤田 裕子 (地域部) | 清輝学区民生児童委員 | 25 中尾 佳子 (学務部) | 清輝保育園長 |
| | 岡山中央警察署少年警察協働員 | 26 西田ゆかり (行政部) | 岡山市岡山っ子育成局
保育幼児教育部幼保運営課
保育副専門監 |
| 7 増川 英一 (地域部) | 県議会議員
元岡輝中学校PTA会長 | | |
| 8 遠藤 隆宏 (地域部) | (副会長)
元岡輝中学校PTA会長 | 27 岡本 育子 (行政部) | 岡山市教育委員会事務局
学校指導課 指導副主査 |
| 9 岩上 房江 (地域部) | 元清輝小PTA副会長
岡輝中学校特別支援教育支援員 | 28 高越 順平 (行政部) | 岡山市教育委員会事務局
教育支援課 指導副主査 |
| 10 酒井 淑 (地域部) | 元岡南小学校岡輝中学校PTA副会長
岡南学区主任児童委員 | 29 花房 朋子 (事務局) | (事務局長)
岡輝中学校教頭 |
| 11 高田 充巳 (地域部) | 元岡南小学校PTA会長 | 30 高木由美子 (事務局) | 岡輝中学校教務主任 |
| 12 田中のぞみ (地域部) | 市議会議員・愛育委員 | 31 藤澤 正宏 (事務局) | 清輝小学校教頭 |
| 13 三村 康彦 (地域部) | 元岡南小学校PTA会長
岡南学区主任児童委員 | 32 浅野 摂子 (事務局) | 岡南小学校教頭 |
| | 岡輝みんな食堂副代表 | 33 中谷 由美 (事務局) | 岡南認定こども園副園長 |
| 14 鈴木 祥成 (地域部) | 岡輝公民館館長 | 34 時山 敦子 (事務局) | 岡南認定こども園副園長 |
| 15 赤木 茂 (地域部) | 清輝児童センター館長 | 35 木村 容子 (事務局) | 清輝保育園副園長 |

岡輝中学校区の不易

岡山市立岡南小学校 校長 奥山 裕史



「親戚の家に引っ越してきたような感じ
です。」この4月に岡南小学校に赴任して
以来、様々な場面で実感し、新任の挨拶や
色々な人々と出会って話す中で繰り返した
言葉です。誰でも転勤をしたら見ず知らず

の地域に飛び込み、初対面の方々と緊張しながら会話を重ねて徐々に馴染んでいくというのが普通だと思います。ところが私の場合、どこよりも人と人のつながりを大切にしている岡輝中学校区の中で転勤したため、初対面の人でも「〇〇さんから聞いているよ。」と温かい言葉をかけていただく事が多々ありました。顔見知りの方もたくさんいてくださり、新天地でありながらずっと前からいたような居心地の良さを感じています。

今の時代、世の中は急激に大きく変化しており、学校も子どもたちを取り巻く環境もそのうねりの中にあります。AIとIoTを基礎として産業革命に匹敵する変革を実現しようとSociety5.0とされる未来社会が提唱され、その実現に向けて学校では子ども1人に1台のタブレットPCが配付されたり、高速インターネット環境が整えられたりしました。ICT機器の活用が小学校1年生から当然のように求められるなど、一昔前では考えられない状況となっています。これからの社会を生き抜き子どもたちに求められる資質や能力をどう

育むのかと考えると、学校教育にICT機器が導入されたり、情報技術に関わる学習内容が取り入れられたりすることは必然の事と思われます。このように学校教育は、時代と共に変化する世の中の状況に応じて、変化していくことを求められています。その一方で、どんなに社会が変化しようとも、時代を超えて変わらず大切にされることがあります。教育界ではよく使われる言葉ですが「不易」と言われるものです。例えば、正義感や公正さを大切にする心、他人と協調し、人を思いやる心を培うことは、いつの時代、どこの国の教育においても大切にされなければならないことです。

岡輝中学校区の二つの小学校に勤めて最もすばらしいと感じるのは、岡輝中学校区の不易がしっかりと学区全体で共通認識され、昔から今に至るまでずっと変わらず大切にされていることです。その中核にある理念は「地域と学校が共に手を取り合い、つながりを大切にしながら子どもたちを育てること」だと思います。昨年度清輝小学校は創立150周年、岡南小学校は創立90周年の節目を迎えました。記念誌編纂に関わる中で、学校創立当初からずっとこの理念が大切にされてきていることを実感いたしました。その歴史の延長線上に立つ者として、地域とのつながりを大切にすることで、子どもたちを健やかに真っ直ぐ育てていけるように、微力ながら全力を尽くす所存です。よろしく願いいたします。

つながり

岡山市立清輝小学校 教頭 藤澤 正宏



はじめまして。今年4月より教頭として
清輝小学校に赴任しました藤澤です。どう
ぞよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルスの感染が始
まってから3年以上が経ちました。今年5
月、5類へ移行され、一区切りとなりました。振り返ってみると、突然の臨時休校から始まって以来、学校行事や地域行事が縮小・中止・延期、その上、移動までも制限され、町から人がいなくなるような今まで誰も経験したことがないことが世界的におこりました。

その中で、強く感じたのは、「つながり」の大切さです。当たり前前のことが当たり前でなくなることで、それまで当たり前にあった、まわりの人との「つながり」を再認識し、多くの人たちに支えられて成り立っていることに気が付きました。今まで気が付きにくかった、見えにくかったものをこのコロナ禍は、見えるようにしてくれたのかもしれない。

コロナ禍においても岡輝中学校区では、できることを模索しながら、「つながり」を保ち続けてきたと聞いております。それは、各校

園での「つながる」学び合いの協同学習と地域と「つながる」学校運営協議会や育成協議会等です。友だちと、お家の人と、地域の人と、地域の様々な施設や団体の方々と「つながる」ことで、子どもも大人も地域も、元気になる地域の活性化に向けてその思いを絶やすことなくつないできたのです。

地域の方々と学校園が守ってきたこの岡輝中学校区を、元気で持続発展可能な地域・学校としていくために、岡輝中学校区のよさをよく知り、岡輝中学校区を愛する人を育てると同時に、コロナ禍で学んだことを生かし新しい視点に立った教育の推進を進めていきたいと思っています。

近い将来、今まで経験したことのない気候変動や感染症等に出会うかもしれません。今まで普通にできていたことが、明日も同じようにできるとは限らない世の中です。当たり前とと思っていた日常に感謝しながら「つながり」をさらに広げ、より強いものにしていけるよう微力ながら努力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

岡輝中学校PTAの元会長 中熊弘哲【名倉弘哲】さんが永眠されました。

PTA会長在任中は、『みどりの林檎』において、岡輝中学校の生徒たちに、トリアージ・消火訓練・災害食の試食等の防災関係の実体験・実演をすることで命の尊さを学ぶことをご提案いただき、自ら各専門省庁への調整ご手をいただき、過去に類をみない『みどりの林檎』授業が実現いたしました。岡山大学薬学部学生さん達の力も借りて、中学校生徒達、保護者、地域の方々真剣に体験している姿が思いだされます。

岡山大学薬学部教授という仕事の傍ら、DMATの主要メン

バーとして全国の災害発生地で活躍され、先進的な救急薬学の分野では重責を担っておられました。本当にお疲れさまでした。本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

※トリアージとは…災害時に多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急性や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために、傷病者に治療優先順位を決めること

※DMATとは…災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して「DMAT(ディー・マツト)」と呼ばれている

岡輝中学校区青少年育成協議会 広報研修部長 高田 充巳

岡山市立岡輝公民館

祝 開館20周年記念式

岡山市立岡輝公民館 開館20周年記念式典

令和5年7月22日（土）



令和5年7月22日に岡輝公民館において「岡輝公民館開館20周年記念式」を挙りました。

当日は、逢澤一郎衆議院議員、三宅泰司岡山市教育委員会教育長、川上洋一初代岡輝公民館長などをお迎えし、記念式典と記念演奏会を行いました。

記念式典では、多年にわたり公民館の運営にご尽力をいただいた、小松原洋子様、岡村耕輔様、中原一郎様、倉田由紀子様、内山久暉様、丸山静恵様、広瀬慶隆様、平井美代子様、藤井敏明様の9名の皆様に、三宅教育長から感謝状が贈呈されました。

引き続き行われた記念演奏会では、鍵盤ハーモニカの第一人者であるTommy CHO様と岡山鍵盤フィルハーモニーカの皆様による演奏が披露され、素晴らしいテクニックと優雅で迫力ある演奏に、聴衆は魅了されました。

岡輝公民館は、平成15年7月に岡山市の31番目の地区公民館として開館し、お陰様で、今年20年を迎えることができました。その間、地域住民の方々の生涯学習の拠点として、また、心安らぐ居場所として利用されているのはもちろんのこと、平成17年の岡山国体の際には、民泊施設として地域をあげて青森県選手団をサポートした取り組みや、「ESD推進のための公民館CLC国際会議」のプレ会議として平成25年に海外からの参加者への対応など、幅広い活動が行われてきました。これも、ひとえに学区の皆様をはじめ、関係者の皆様のご尽力のおかげであり、改めて感謝を申し上げる次第です。

これからも、老若男女を問わず、地域住民の方々が何かしたい、始めたいというときに役立つ「つながりの場」「憩いの場」となるよう、また、地域全体での学びと実践を繰り返しながら持続可能な社会づくりに貢献し、多くの皆様に開かれた公民館となるよう取り組んで参ります。皆様方とともに、岡輝らしい公民館活動を推進したいと考えておりますので、引き続き、多大なご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岡山市立岡輝公民館 館長 赤木 茂



岡山市教育委員会 三宅泰司教育長ご祝辞



逢澤一郎衆議院議員ご祝辞

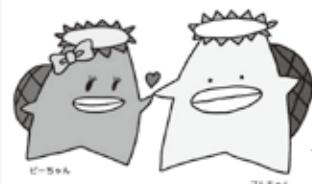


岡山鍵盤フィルハーモニーカの皆様



Tommy CHOの皆様

おかげさまで
20周年



つながっば

友だちと、地域の人と、先生と「いっしょに」公・私立学校園・2023年度後期の取り組み

4年ぶりの沖縄修学旅行

入学式の翌日、4月12日（水）から14日（金）までの3日間、3年生は修学旅行へ行ってきました。岡輝中学校では、数年前から沖縄を先先としていますが、昨年度までの3年間はコロナの影響で泊を伴う修学旅行そのものが中止になったり、行き先を変更したりしましたので、4年ぶりに2泊3日の沖縄でした。

太平洋戦争で国内唯一の地上戦が繰り広げられた沖縄の地を訪れ、ひめゆりの塔や平和の礎、糸数豪（アブチラガマ）等において平和について学ぶと共に、沖縄ならではの文化や自然に触れるなど、たくさんの体験をしてきました。



岡輝中学校

『みどりの林檎』学習

命について考え、誰もがみんなかけがえない尊い存在であることに気づき、自分もまわりの人も大切にしようとする気持ち、強くたくましく生きようとする心を育成することを目的として実施しています。オープンスクールでもあったので、地域の方にも学校においていただき、清輝小の子ども達が真剣に命の学習に取り組む姿を見ていただくことができました。

- 1年生：「いのちのはなし」
- 2年生：「おへそのひみつ」
- 3年生：「いのちのはじまり」
- 4年生：「いのちの授業」
- 5年生：「命について考えよう。」
—今、自分にできること—
- 6年生：「大切ないのち
大切なわたし」

清輝小学校



頼りになるリーダーたち

岡南小学校には、高学年を中心に頼りになるリーダーたちがたくさんいます。委員会活動では、運営委員会を中心に、あいさつ運動に取り組んでくれたり、栽培委員会の人たちが休み時間にそうじをしてもらっています。6年生は、1年生のそうじを手伝ったり、そうじの仕方を教えてあげたりしています。

自分の事だけでなく、学校全体のため、友達のため、下級生のために進んで行動できるリーダーたちの活躍が光っています。



お楽しみ会

毎月のお楽しみ会・お楽しみランチデーは、いつもよりちょっと特別な楽しいことが待っています。お楽しみ会の日は、子どもも大人もワクワクしています。夏のお楽しみ会は、地域の方が来て、マジックを披露していただきました。マジックが始まると息をのみ興味津々で見ていた子どもたち。小さな箱から宝物がどんどん出てくると、『わー』と驚いた表情を見せ、思わず立ち上がって拍手をして大興奮の子どもたちでした。会の後も「あれは魔法だー」「透明人間が持ってきたんじゃない?」と想像を膨らませ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

清輝保育園



夏まつり(広和祭)を行いました。富田保育園



8月2日（3歳未満児対象）、8月3日（3歳以上児対象）で子どもたちと職員で夏まつりを行いました。今年のテーマはディズニー40周年という事で冒頭に年長児がミッキーお神輿を担いで盛り上げてくれました。

2日目には、みんなでジャンボリミッキーを踊りました！ 園庭にはヨーヨーつり・スーパーボールすくい・スイカ叩きゲーム。室内にはゲームコーナーを設置し、ボーリング・魚釣り・輪投げと子どもたちは楽しんで遊んでいました。2日目の給食には、ディズニーのゆかいな仲間ランチをテーマに屋台弁当を給食の先生が作ってくれました。おやつには夏と言えばかき氷！！シロップは定番のイチゴ子どもたちは舌を真っ赤にしなが食べていました（笑）

コロナにより全て廃止にするのではなく、どうすれば子どもたちが喜んでくれるのかを職員と相談しながら、行事の見直しを行ってきました。4年前の当たり前に戻るには、まだまだ時間がかかりそうですが子どもの笑顔が見られる事が大切だと感じます。 富田保育園 本屋 亮一

楽しかった夏

この夏は、4・5歳児のプールを4年ぶりに再開しました。園でプールに入るのは初めての経験のため、はじめはドキドキした様子を見せていた子ども達。

ワニになって歩いたりバタ足をしたり、プールの中をみんなで走ってぐるぐる水の流れを作りその流れにのって体を浮かせたりしてプール遊びを楽しみました。いろいろな経験をしていくうちに、「明日はプールの日? やった!」など期待をもつ姿も見られるようになりました。水がかからないように顔を隠していた子も友達の様子に刺激を受け、顔を付けることに挑戦してみたり体に水をかけ合ったりしてダイナミックに遊ぶことができました。友達の存在は大きいですね。

小さいクラスの友達も水鉄砲をしたり、じょうろで体に水をかけたりして夏ならではの遊びを楽しみました。3歳児クラスではピンク色の色水を作った友達に「どうやったらその色ができたの?」と興味津々に聞く姿も見られ、友達と一緒に考えたり教え合ったりしながら遊ぶことを楽しみました。

今後もその時期ならではの遊びの中で様々な体験をしていけるよう、日々の保育・教育を充実させていきたいと思っています。



プール活動

この夏の暑さは尋常ではありませんでした。学校施設での熱中症による、園児・児童搬送のニュースに心痛む思いでした。そんな中であっても、子どもたちは常に元気!! その姿は私たちにとって何より嬉しく、幸せに感じる瞬間でもありました。

コロナが5類になり、この夏は徐々に友だちと一緒にプール活動にも取り組むことが出来、子どもたちは夏ならではの楽しい時間を過ごしました。

「ディスタンス」を意識し続けてきたこの数年、やはり友だちや先生と近くで関わり、同じ時間を共有することは、大切な「心の育ち」に繋がると確認しています。

スポーツの秋を迎え、岡輝中学校のグラウンドをお借りして「運動会」もさせて頂きます。勿論、引き続き感染対策には心を配りながら、子どもたちの最高の笑顔が広がる二学期になりますように…と、心から願っています。



岡南認定こども園

岡山聖園幼稚園

輝いてるね! がんばっているひとたち

岡輝中 「中学生の活躍」

◆吹奏楽部

吹奏楽コンクール 金賞

7月23日、マービーふれあいセンターで行われた「岡山県吹奏楽コンクール小編成部門予選大会」に出場しました。19人全員で序曲「春の猟犬」を演奏し、「金賞」を受賞することができました。



◆男子柔道部

第61回岡山県中学校総合体育大会 兼 岡山県中学校柔道選手権大会 男子個人第3位 森岡 新さん

備前西地区予選を3位で通過して出場した県大会においては、2回戦で第1シードの選手に優勢勝ちした他、3試合で一本勝ちを収めました。初出場の1年生ながら健闘し、55kg級で第3位となりました。



◆第69回青少年読書感想文コンクール

〈岡山市金賞〉 景山 快司さん (2年生)
〈岡山県佳作〉

◆硬筆・書道展覧会

第178回県下小中学校硬筆習字展覧会

〈金賞〉 伊達 結菜さん
〈銀賞〉 宇野 亜美さん
〈入選〉 小郷 滉平さん
〈入選〉 岡本 璃久さん

◆岡輝中学校

口腔衛生努力校表彰

岡山市教育委員会や学校保健会、歯科医師会による口腔衛生努力校に選ばれました。8月23日に行われた表彰式に保健体育委員長の西岡君が参加し、岡山市内の学校を代表してあいさつを行いました。



岡輝中学校野球部OB 尾崎 洸太郎さん

高校軟式野球の名門 天理高校で活躍している尾崎さん(高校3年生)。全国高校軟式野球大会で準優勝。新聞にも大きく取り上げられました。



岡南小 「きらり輝く岡南っ子」

◆岡山南警察署管内少年剣道大会

男子個人戦3, 4年生の部
〈準優勝〉フビオ 暁さん(4年生)

女子個人戦3, 4年生の部
〈第3位〉三島莉央菜さん(4年生)



◆中国四国大会

フィギュアスケート選手権大会

ノービスB 女子
〈第1位〉林 芽彩菜さん(4年生)

1級 女子
〈第3位〉林 莉瑚さん(2年生)



◆歯科衛生週間図画・ポスターコンクール

〈努力賞〉吉田 美菓さん(1年生)
〈入選〉吉川 紗彩さん(5年生)



◆アマ修斗広島大会

キッズ修斗 32kg以下級
〈優勝〉新谷 幸輝さん(3年生)



清輝小 「頑張りました」

◆歯の衛生週間図画・ポスターコンクール

〈特選〉可児 希美さん(3年生)
〈入選〉川ノ上潤那さん(5年生)



◆岡山県学童水泳大会

男子200m 自由形
〈第2位〉中村 曹獅さん(6年生)



ハート ふれんず

岡輝中

8月26日(土)朝7時、有志の生徒、保護者、地域の方、教職員、総勢130名が中学校に集まり、参加者で約1時間グラウンドの草取りなどの奉仕作業を行いました。登校時にたくさんのゴミを拾ってくる生徒もいました。暑い中、たくさん汗をかきましたが、作業を終えたみなさんは、とてもさわやかな表情でした。頑張った後のかき氷は格別でした。ありがとうございました。



清輝小

暑さが厳しく、清輝小学校は作業を運動場の草取りに絞り、時間も短めにしましたが、それでもリヤカー2杯分の草が取れました。

清輝ミニバスケットボールクラブのメンバーは、遊戯室を使わせてもらっている児童センターの草取りを民生児童委員の方と一緒にしてくれました。

汗を流した後は、今年から復活の「夏を食べる会」。熟練の技で削られたフワフワの氷に甘いシロップをかけたかき氷は最高でした。駆け付けた中学生の中には、おかわりをしている人もいました。



サマーグリーン大作戦

力を合わせて
ミッションを
完遂せよ!!

岡南小

「みんなの手で気持ちのよい学校へ」
子どもたち、保護者の皆さん、地域の皆さんなど多くの方が、早朝より学校に集まってくださいました。昨年に比べると、参加者数は大幅アップしました。気持ちよく新学期が迎

えられるように、草抜き、落ち葉拾い、グラウンド整備、ピオトープ整備などに汗を流してくださいました。4年ぶりにかき氷も復活し、作業を終えた後みなさんでおいしくいただき、暑さを忘れて楽しいひとときを過ごしました。



岡南認定こども園

8月26日(土)に行われたサマーグリーン大作戦に保護者・園児・小学生、職員も含め総勢51名が参加。朝から気温が高い中、園舎内の溝掃除や草抜きなど清掃活動に取り組みました。

どんどん伸びる草に、普段職員がする草抜きでは追いつかず、園にとってこのサマーグリーン大作戦はとても助けになる活動です。園庭の草抜きを熱心に行っていた園児が「見て、こんなにたくさん抜けたよ!」と見せてくれました。また、溝掃除も保護者の方の力をお借りすることできれいになり、水はけもよくなりました。

そして、今年のかき氷も復活!一生懸命掃除をした後のかき氷は特別おいしかったようです。参加して下さった皆様に感謝です。2学期を気持ちよく迎えることができました。



岡輝地区地域懇談会が開かれました

岡輝地区青少年育成協議会の主催による地域懇談会が9月1日(金)に開催されました。地域や保護者の方、教職員の約130人が岡輝中学校に集まり『おとなも子どもも みんなで話そう 私たちの住む町』というテーマのもと、地域ごとに分かれて熱心に懇談しました。「ご自身のお子さんや地域の子供たちから感じるいいこと」、「子どもたちのことでちょっと気になること」、「通学路など安心、安全面について」などのお題のもと、熱心に話し合いが行われました。



耳から涼を

岡輝中学校 教頭 花房 朋子



今年もまた猛暑。いつまで気温30℃超えの真夏日や35℃超えの猛暑日が続くのだろうと思ひながら、仕事を終えた夜に我が家の庭の水撒きをする。テレビからは24時間テレビのCMの音楽が聞こえて気持ちが沈んでいく8月の終わり、ふと気づいた。ついこの間まで「ジー——」だった虫の音（おそらくオケラ）が、「リーリー」「コロコロ」「チンチンコ」に変わっている。「ああ、季節は秋に向かってるんだ…」。

脳とは不思議だ。一気に現実の気温を無視して涼を感じた。クーラーは大好きだが、時には脳内マジックにかかるのもいいものだ。

随想

日々の触れ合いを大切に

岡南小学校 教頭 浅野 摂子



昨年、岡南小に赴任した時にはまだコロナ禍で全員がマスクをし、行事も規模を縮小して行われていました。徐々に制限が緩和され、マスクを外した子ども達の表情が見えるようになるにつれ、子ども達との距離も縮まり岡南小の一員になれたように思います。

今年は学校、地域の行事がコロナ前に戻りつつあり、岡輝中学校区がいかに地域と共に歩んでいるかを実感として感じています。

これからも子ども達の笑顔や保護者・地域の皆様の力に支えられながら、学校運営に力を注いでいきたいと思っています。

minna no MINAMI (みんなの南)

岡山県立岡山南高等学校 校長 山本 圭司



皆様、こんにちは。今年度、岡山南高校に着任いたしました山本と申します。この度の転勤で、この地域にご縁をいただきましたことに深く感謝しております。4月以降、学校関係者だけでなく、地域の方々との交流の機会を何度もいただきましたが、その度に、多くの方が、様々なお立場から岡山南高校を大事に思ってくださっていることを実感しています。これからも折りに触れて地域の皆様と交流させていただきながら、地域に支えられてきた学校として地域のお役に立てるよう力を尽くして参りたいと思っています。

本校は、120年を超える歴史を持つ伝統校ですが、その輝かしい伝統に支えられながら生徒たちはさらに高みを目指し、「礼儀正しい実力派」を理想像として、誠実で、実務能力に優れ、社会から信頼される人となるべく、日々懸命に頑張っています。地域の皆様も、引き続き、岡山南高校を応援していただければ幸いです。



生徒の毎日を楽しく綴る南高公式ブログ
「minna no MINAMI」

ほぼ、ほぼ、毎日、更新中ですので、是非ご覧ください。
<https://www.okaminam.okayama-c.ed.jp/wordpress/>

令和5年度“広和魁うらじゃ”を演舞しました。

富田保育園 本屋 亮一

今年はコロナが5類に引き下げられた事に伴い、岡山うらじゃが4年ぶりに開催される事になりました。残念ながら保育園の行事が全て昔のように戻っていない事から、今年度も“うらじゃ本祭”への参加はできませんでしたが、広和魁として12年目の演舞を行いました。

本祭には出場できなくても、年長児さんは毎年、お兄ちゃん・お姉ちゃんたちが保育園で練習している姿を見て育ってきました。温羅の魂を継承していく事が我々に出来る役割であると思います。

毎日暑中、園庭で練習を行い当日は最高の思い出となりました。

保護者の方は参加できませんでしたが、本祭の「動」にちなんで、力いっぱい体を動かして見事に演舞を披露しました！

うらじゃも今年で28回目を迎え、岡山と言えば“うらじゃ”と言われるようになってきました。富田保育園では初参加から子どもたちに“うらじゃ原曲”が聞こえてくると“うらじゃだー！”と覚えてもらえるように原曲で演舞をしています。

富田保育園を卒園した園児も色々な連に参加し、うらじゃを楽しんでくれています。岡山を盛り上げる為、これからも演舞したいと思っています。



アンケート

2023地区懇談会 設問4題

1. ご自身のお子様や、地区の子ども達から感じるいいこと！
2. 子ども達のことによってちょっと気になっていること！
3. 通学路など安心・安全面で気になっていること！
4. そのほか思っていることを何でも自由にどうぞ！

清輝小学校区でのご意見…

1. ◆挨拶がよくできる。 ◆明るく人懐っこく子どもらしい。
◆素直で優しい。 ◆異学年・男女で仲が良い。
2. ◆コロナで家の中での生活になり、外に出ていかず、ゲームやパソコンばかりする子が増えている。 ◆体力低下。
◆ごみがボイ捨てされているのが気になる。
3. ◆朝の通勤・通学時間帯の自転車危険。正門前・清輝橋交差点・川沿いの道 ◆正門前の陸橋の老朽化。 ◆自転車の乗り方・飛び出し。
◆路側帯や一旦停止の表示が薄くなったまま。
4. ◆登下校時の声掛けなど、地域の連携がよくできている。
◆学区の少子化に危機感。 ◆ボイ捨て・挨拶など、大人のマナーを向上させ、清輝学区のイメージアップを！

岡南小学校区でのご意見…

1. ◆挨拶がよくできる。 ◆心優しく、誰とでも分け隔てなく関われる。
◆人懐っこく、素直で子どもらしい。 ◆よくお手伝いをしてくれたり、下学年のお世話をしてくれたりする。
2. ◆公園での遊び方や道路での交通マナーが気になる。 ◆安心して遊べる公園などが少なく、外で遊ぶことが減っている。それに伴い体力の低下が心配。
3. ◆ユニクロ、ハローズ、スケートリンク付近の交差点が危ない。 ◆通学路の交通量が多く、スピードを出している車も有り危ない。 ◆自転車の乗り方（ヘルメットを含む）が気になる。
4. ◆困っている友達や年下の子に自然に声かけや手助けができる姿がすばらしい。 ◆地域がひとつになって子どもの成長を見守っているのがすばらしい。
◆地域の方や先生方と交流できてよかった。



岡山で生まれた私たちが育てた

シニアスクール

特定非営利活動(NPO)法人

子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクールは、

人との関わりと、もっと学び続けたいと思っている元気なシニアの皆さんを募集しています。

シニアスクール(子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール)は… 私たち「生徒」にとって、こんな所です！

シニアとは…シニアスクールにおけるシニアとは「人生経験者」という意味です。学ぶ心と、活動する意欲を持っているシニアの皆さんを募集しています。

- 支え合い、話し合える友だちができる。
- 約40名のベテラン講師により、楽しみながら勉強ができる。
- テスト・指名・宿題はありません。
- 規則正しく、リズムのある生活をする。
- 忘れかけた子どものころのこと、勉強のことなど懐かしく思い出す。
- 子どもたちから元気をもらいながら、共に学ぶことから「自分も役立っている」ことが実感できる。
- 「おいしい給食」を子どもたちと一緒に味わうことができる。

新しい自分に
出会えるかも…



シニアスクールは、子ども達が、人生の先輩の様々な生き方や考えに触れることができる素晴らしい取り組みです。



岡山県知事 伊原木隆太

平成15年9月に全国初のシニアスクールを開校されて以来、長年にわたり先進的な取組をしてこられた事務局を始め、講師の先生方や関係者の皆様の御努力に心から敬意を表します。

超高齢社会を迎えた本県において、シニアの方が学校という地域の身近な場所で、学び、体験できるシニアスクールは、生涯学習の充実に大きく貢献することはもちろんのこと、子どもと交流することによりシニアの方御自身の元気の支えになったり、学校教育の充実に繋がる優れた取組であり、全国に誇ることができる良い事例として他の地域にも広まることを期待しております。

今後も、関係者の皆様の益々の御健勝と、シニアスクールの更なる発展を心からお祈り申し上げます。



岡山市長 大森 雅夫

人生100年時代といわれる今日、高齢者を含む誰もが生涯を通じて健康で、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会の実現が求められています。

「子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール」は、子どもたちや地域の方々との多世代交流・共生の場として、全国的にも注目されている岡山市が誇る取組の一つです。そして、その取組は世界中で取り組まれているSDGs(持続可能な開発目標)の掲げる「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現」へとつながっています。

多くの向上心のある高齢者の方々に、シニアスクールにご参加いただき、新たな出逢いや学びを広げつつ、これまでに培ってきた豊かな知識・経験を活かし、地域社会の担い手としてぜひ活躍いただきたいと思います。



特定非営利活動(NPO)法人

子どもたちと共に学ぶ教室 シニアスクール

[シニアスクール事務局]
〒700-0867 岡山市北区岡町12-17
(岡輝中学校内)

TEL. (086) 232-0056

NPO法人 子どもたちと共に学ぶ教室 シニアスクール 公式サイト
<https://seniorschool.website/>